

東南アジア地域テクニカルビジット PR オンラインツアー事業 業務委託仕様書

1 事業名

東南アジア地域テクニカルビジット PR オンラインツアー事業

2 事業の概要

(1) 事業の目的

本事業では、当地域ならではのテクニカルビジットプロジェクトを活用し、東南アジア地域の自社催行のツアーを取り扱っている旅行会社（プライベート・インセンティブ関連）、MICE プランナー等を対象に、愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト参画企業連携のもと、愛知・名古屋 MICE 推進協議会推奨ルートを活用したオンラインツアーを実施し、情報発信する。この取組みにより、当地域への MICE 受入環境に対する理解を深めてもらい、認知度向上を目指すとともに、参加者から直接寄せられる意見等を参考に今後の旅行需要回復も見据えてコンテンツを磨き上げる事で、更なる誘客拡大を図る。

(2) 事業の内容

当地域への送客やツアー造成に意欲のある自社催行のツアーを取り扱っているシンガポールを始めとする東南アジア地域の旅行会社（プライベート・インセンティブ関連）、MICE プランナー等を対象に、オンラインツアーを開催し、当地域のテクニカルビジットプロジェクト及び MICE 受入環境を PR する。事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意し、必要な対策を講じること。

提案にあたっては、オンラインツアーの概要について具体的な内容を提案するとともに、当地域の認知度向上及び更なる誘客に資する効果的な提案をすること。また、ツアーの参加が想定される旅行会社、MICE プランナー名、企業概要、送客実績等を記載するとともに、当地域への今後の送客意欲等の参考情報も記載すること。

ア 実施概要

- ・時 期：令和3年10月～令和4年1月
- ・開催時間：1回2時間程度
- ・実施回数：1回以上
- ・実施言語：英語
- ・参加者：シンガポールを始めとする東南アジア地域の旅行会社（プライベート・インセンティブ関連）、MICE プランナー等 計10社以上
※その他、日本政府観光局（JNTO）職員（2名以上）のための参加枠を設けること。

イ 企画内容

- ・令和2年度に愛知・名古屋 MICE 推進協議会が作成した愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクトの紹介動画” Technical Visit & Unique Venue -Journey

to Aichi-Nagoya” 及び愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト参画企業リーフレットを活用した内容とすること。

- ・愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト参画企業と連携し、ツアー当日に、旅行会社、MICE プランナー等からの質疑に対応できる内容とすること。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナの訪日観光を前提に、当地域の魅力を PR できる内容を提案すること。
- ・旅行需要回復後を見据えたツアー商品造成に結びつく内容とすること。
- ・その他、参加者が興味を持つような内容を予算内で追加できる場合は、提案すること。

ウ 運営

- ・オンラインツアー参加者（国、業種、人数等）、当日の運営が円滑に進められる必要なスタッフの体制、ガイド（MC との兼務も可）、通訳、機材、会場等について提案し、これに係る一切の業務を手配、実施すること。
- ・オンラインツアーの質疑応答に対応いただくプロジェクト参画企業の手配及び、当日に向けた調整を行うこと。
- ・オンラインツアーの日時、内容及び資料については、発注者と事前に調整を行うこと。

エ アンケートの実施

参加者に対して、本ツアーに関する評価・改善点の把握や、今後の東南アジア地域からのインセンティブツアーの送客の参考となるアンケートを実施し、結果を分析すること。また、アンケートの作成及び分析結果は、必要な言語に翻訳することとし、アンケート項目は、発注者と調整を行うこと。

オ 事業の成果把握

愛知・名古屋 MICE 推進協議会が設定する成果指標（以下、「KPI」と言う。）に対する成果把握をする。KPI は以下のとおりとし、KPI の目標値、把握するための手法を提案すること。また、以下に限らず、本事業によって、対象市場における当地域の認知度が向上したか、具体的に当地域への旅行を検討した企業の数、実際に旅行につながったかなど、カスタマージャーニーの各段階において本事業がどのように成果を上げたかにつき、効率的・効果的に把握できる KPI について、その把握手法も含めて提案すること。

○KPI：参加人数、アンケート回収数・回収率、参加者による評価

カ 事業の分析・考察

本事業を通じた情報発信の成果を踏まえ、分析・考察を行い、今後の東南アジアからのインセンティブツアー送客促進のために効果的な方策を取りまとめること。

(3) その他

上記に限らず、東南アジア地域からのインセンティブツアー送客促進のために、予算内で実施可能な効果的な方策があれば提案すること。

3 成果物の提出

実施した事業の内容について、事業に対する評価・考察（成果のまとめ、アンケート集計、課題、解決策、今後の展開等）を盛り込んだ事業実績報告書を作成すること。

事業実績報告書は、PowerPoint、Word 若しくは Excel 形式など発注者において二次利用可能な形式にて作成するものとする。

（提出部数）

- ・ 日本工業規格 A4 判（簡易製本、カラー）： 4 部
- ・ 電子データ（CD 又は DVD）： 4 部